

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 門司中央 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

◇男女ともに、体育の授業が生活を健康で明るいものにする1つの要素となっており、特に男子では自分なりの目標を立てて体力向上に取り組もうとする姿勢が見られる。
 ◇その反面、運動に苦手意識を感じている児童の割合が高く、放課後や休日における女子の運動時間が短い傾向にある。
 ◇睡眠時間やゲーム・スマホ等に触れる時間に課題が見られる。また、朝食を毎日食べる児童の割合が、男女ともに全国・市の平均よりも低い。食育や情報モラル教育の充実が必要である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

◇活動や動きのポイントを「見える化」できるGIGA端末の活用を進める。
 ◇「めあて」「まとめ」「振り返り」を児童にも意識させるために、運動場や体育館においてもホワイトボードを活用して視覚的に表現できるようにする。
 ◇学習カードの活用、場の工夫、学び合いの充実等を通して、児童がより意欲的・主体的に学ぶことのできる授業改善に努める。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

◇児童が日常的に運動に親しむことができるように、道具の貸出し（一輪車や竹馬、リレー用バトン、逆上がり補助具、なわとび）や、場づくり（ドッジボールやバスケットボールコート、走ゾーン等）を行う。
 ◇冬季に元気もりもりタイム（持久走、縄跳び、ダンス）に取り組む。一人一人に自分に適した目標を設定させ、目標達成に向けた主体的な取組とする。家庭にも取組の様子を情報公開し、家庭での運動習慣の涵養にもつなげる。
 ◇新体力テストに向けて縦割りでの活動を仕組み、全校的な取組とするとともに、結果を運動の日常化へとつなげていく。